

## 第6回定期総会&amp;記念事業を開催

8月6日(土)に静岡労政会館において、「静岡県労働研究所・第6回定期総会&記念事業」が24名の参加で開催されました。

## 第6回定期総会

# 最低生計費の活用と 非正規労働者の処遇改善を

今年で10年が経過し、節目の総会となりました。これまで合同チームで取り組んできた「静岡県最低生計費試算調査」のまとめとして、冊子(ブックレット)の発行を行うこと、また非正規労働者の処遇改善の検討を、引続き行っていくことが確認されました。

会場からは次のような意見が出ました。

- 浜松支所で行った職場の実態のまとめを、今後も継続してやっていきたい。
- 非正規労働者の問題では、派遣切り、青年ユニオン、最低生計費などに取り組んできた。また個人の研究を論文にまとめる作業を行ってきた。
- 最低生計費の取り組みを通じて、春闘の賃上げや、教育・住宅・医療など社会保障との関わりが見え、労働組合との接点が広がった。
- 研究者と労働者が一緒にやってきたが、成果の実践的活用は、これからになる。今後も、研究会のまとめを残しておくこと、労働組合との懇談でテーマを引き出すことが大切と思う。

記念事業 講師：遠藤公嗣氏(明治大学教授)

「仕事に見合った賃金って? ~職務分析・職務評価・同一価値労働同一賃金~」

## 仕事内容のわりに賃金が低い

記念事業では、初めに現場からの報告を医療関係者が行い、看護師と介護職員の労働実態と、労働条件の格差が紹介されました。

続いて、遠藤公嗣氏(明治大学教授)による講演が行われました。低賃金で生計を立てる労働者が増加し、低賃金を是正するための方法が求められているとして、「同一価値労働同一賃金」原則に従って職務評価を行うことの重要性が話されました。ただし、現在の日本の正規労働者に、安定した職務の概念がないことが、克服すべき困難な問題として指摘されました、そして、それを解決するために新しく「課業セット」の考え方が提案されました。最後に質問に答え、賃金水準の問題は労使の力関係で決められること、職務基準で市場を規制することが目的であることなどが話されました。

### 【今後の日程】

9月14日(水)18:30

浜松支所 定例会 於：西部地区労連

9月16日(金)18:30

9月定例研究会 於：県評

9月28日(水)18:30

理事会 於：県評

\* 連絡先：静岡市駿河区稲川 2-2-1 コハラサウスサイドビル 7F

静岡県労働研究所 TEL054-287-1293 FAX054-286-7973